

情報公開文書（WEB でのストレスチェックを受ける児童生徒・保護者の方へ）

現在、千葉大学子どもこころの発達教育研究センターでは、「学校における教育活動としての『WEB上での子どものストレスチェック』に関する研究」を行っています。今後の子どものメンタルヘルス支援の研究に役立てることを目的に、この研究では児童生徒が実施したストレスチェックの結果のデータ情報を利用して頂きます。データ情報がこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の相談窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 学校における教育活動としての「WEB上での子どものストレスチェック」運用に関する研究」

2. 研究の意義・目的 これまでの研究により、WEB ストレスチェックは学校保健安全法の健康観察、健康相談、保健指導と同様、学校の日常活動の中で行われるようになり、高ストレスの児童生徒のスクリーニングが可能となりました。紙を用いた心の健康状態を測る尺度での調査は学校単位で行われていたものの、WEB でのストレスに関する長期間の大規模調査はこれまで行われていません。今回の研究では、各学校をつなげる子どものストレスチェックのネットワーク化を目指し、WEB 上で実施したいただいたおお客様のストレスチェックのデータを研究のために、個人名を除く形で、収集し、解析を行い、高ストレスの予測法を見つけることを目的とします。

3. 研究の方法

（参加者の募集）

倫理審査承認後、実施協力校及び参加者を千葉大学子どもこころ発達教育研究センターホームページ「子どものストレスチェック」WEB サイトで募集します。

千葉大学「子どものストレスチェック」WEB サイト

<https://www.m.chiba-u.ac.jp/class/rccmd/StressCheck/>

（インフォームド・コンセント）

児童生徒は、WEB 上で十分な説明と質問の機会を与えたのち、本人から同意（賛意）を得ます。

児童生徒および保護者については、国が定めた指針「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づき、個別に同意を得ることなく、その代わりに、研究に関する情報を公開し、研究に情報などが使用されることを拒否できる機会を保障します。

（児童生徒のストレスチェック質問への回答）

児童生徒が同意した場合は、同じ URL の「WEB 上での子どものストレスチェック」に、学年、組、出席番号、氏名を入力し、児童生徒が自分の ID とパスワードでログインして、WEB アンケート（パブリックヘルスリサーチセンター版ストレスチェックインベントリー（PSI）などを基にした質問項目）に回答する形で子どものストレス（心理的負担）の程度を測定します。この結果は、学校保健安全法の健康観察、健康相談、保健指導と同様、学校の日常的な教育活動の中で、用いられます。

（児童生徒へのストレスチェックの結果のフィードバック）

回答結果は自動的に集計され、あらかじめ決められた基準で高ストレスの有無を判定します。児童生徒は WEB 上で、ID、パスワードでログインし、セキュリティを確保した上で、ストレスチェックの結果を閲覧します。また、結果は学校の教育相談の資料などとなります。

「WEB 上での子どものストレスチェック」の結果は研究に使用しますが、学校側が行った健康相談、保健指導などの内容は「WEB 上での子どものストレスチェック」に関する研究には含まれません。

(高ストレスの児童生徒への面談の実施)

高ストレスと判定された児童生徒の本人から、ストレスに対する相談希望がある場合は、学校側の教諭、養護教諭、スクールカウンセラーが直接対応します。

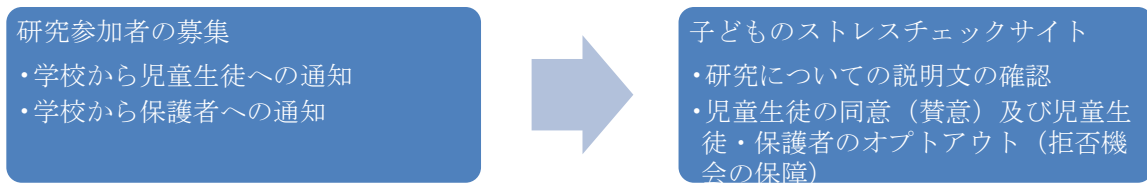
(データの保管)

WEB上でのストレスチェックのデータは、千葉大学子どものこころの発達教育研究センターが委託する企業のクラウドデータベース（千葉大学のクラウドデータベースのガイドラインに準拠する）に、情報セキュリティが担保された状態で管理されます。

(データの解析)

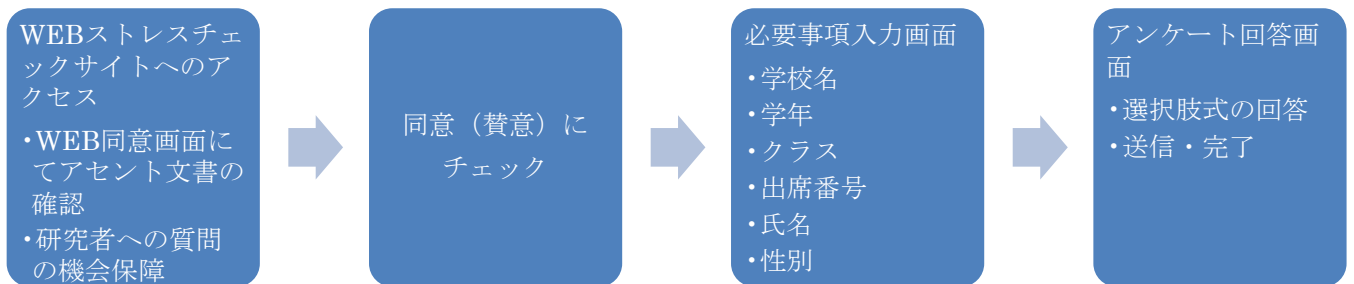
集計したデータは、氏名のない形のコード番号で、千葉大学子どものこころの発達教育研究センターの研究者により解析ソフトを用いて詳細な分析がされます。

参加者募集から、インフォームドコンセントまでの流れ

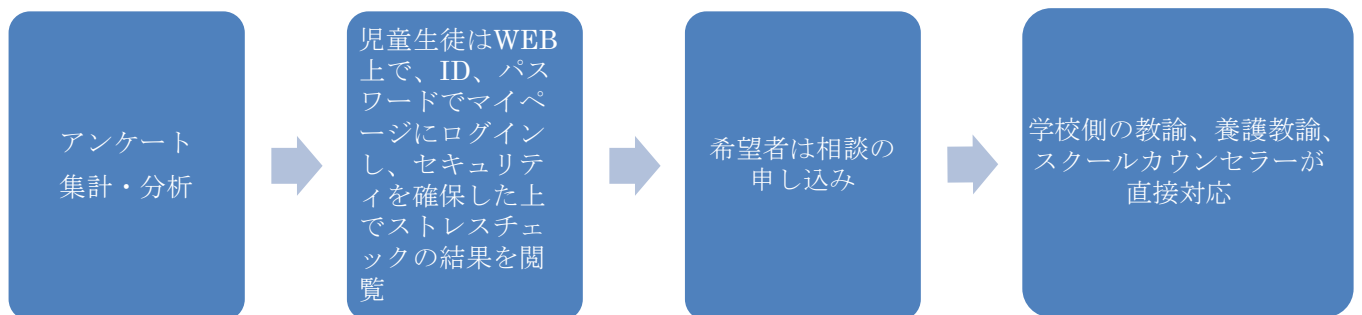


*オプトアウトについては「7. 研究に情報などを利用して欲しくない場合について」
をご覧ください。

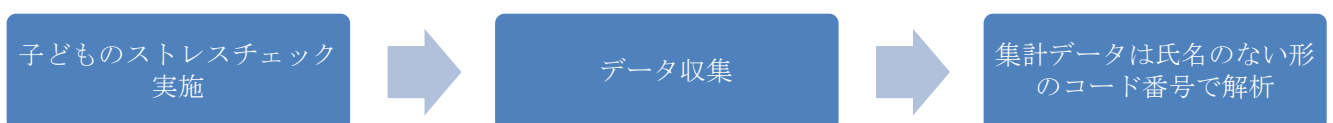
児童生徒の回答の流れ



児童生徒へのストレスチェックの結果のフィードバックの流れ



解析の流れ



研究項目とスケジュール

| 項目 実施者 | 項目 | | | | | |
|-----------|--------|-------------|---------|--------------|-------|-------|
| | 研究募集案内 | 同意・研究参加申し込み | アンケート回答 | 結果閲覧・フィードバック | データ回収 | データ解析 |
| 保護者 | ● | | | | | |
| 児童生徒 | ● | ● | ● | ● | | |
| 学校 | | | | ● | | |
| 大学 | | | | | ● | ● |

解析の概要

ストレスチェックに関する質問紙は「パブリックヘルスリサーチセンター版ストレスチェックインベントリー（PSI、坂野ら 2007）などを使用します。

質問内容は、

ストレス反応（心身の不調） 身体的反応、抑うつ・不安、不機嫌・怒り、無力感

ストレッサー（ストレスの原因） 学校での関係、友人関係、学業（高校生は進路を追加）

ソーシャルサポート（周りからの援助）：お家の人、学校、友人の3つについてです。

回答は四者択一の選択式（全くあてはまらない・あまりあてはまらない・少しあてはまる・よくあてはまる）です。

小学生 24 個、中学生 40 個、高校生 43 個の質問で、回答時間は約 10 分です。

なお、短縮版のストレスチェックの質問項目は、24 個です。

その他に、必要に応じて、学校風土尺度（33 項目）、うつ尺度 PHQ-9A（9 項目）、不安尺度 GAD-7（7 項目）、悩みの質問、子どもの貧困、ヤングケアラー、ネット依存についての質問も含まれます。

データ収集後、個人情報を含まない形でのデータ解析を、統計学的に分析します。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、特定の個人を識別することができないようにして管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、氏名などは一切公表しないこととします。WEB 上で収集したデータは、情報セキュリティの担保された千葉大学が委託する企業（株式会社プロアシスト）のクラウドデータベース（千葉大学のクラウドデータベースのガイドラインに準拠する）で保管されます。本研究の特定の個人を識別することができないようにされたデータを解析する場合は、研究者の管理するコンピューターもしくはアクセス制限の掛けられた電子媒体内に保管して行われます。

5. 外部への試料・情報の提供

該当なし

6. 研究組織

千葉大学子どものこころの発達教育研究センター センター長 清水栄司

7. 研究に情報などを利用して欲しくない場合について

WEB ストレスチェックの結果の研究でのご提供にご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をします。下記メールにてご遠慮なくお申し出ください。送付先は千葉大学子どもこころの発達教育研究センター研究代表者清水宛で、児童生徒氏名・学校名・学年・クラス・ご連絡先を必ずご記入ください。

研究実施機関 : 千葉大学子どもこころの発達教育研究センター
本件のお問合せ先 : 〒260-8670 千葉市中央区亥鼻 1-8-1
千葉大学子どもこころの発達教育研究センター
教授 清水栄司
TEL:043-226-2975
Email : chibarccmd@ML.chiba-u.jp

研究代表機関 : 千葉大学子どもこころの発達教育研究センター
研究代表者 : 清水 栄司

文部科学省・厚生労働省・経済産業省による「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。